



木村亮太

- 1984年4月22日 枚方市に生まれる
- 1991年 枚方小学校入学
- 1997年 パンコク日本人学校卒業
- 2000年 枚方中学校卒業
- 2003年 四條畷高校卒業
- 2007年 大阪大学経済学部卒業
- ベンチャー企業を経て、
- 2011年より枚方市議会議員(1期目)
- 現在、若者の政治参加を促す
- NPO法人ドットジェイピーの執行役員を務める

未来に責任

誰よりも発信することで変えていきたい。

「政治家なんて誰がなっても同じ」、「何を考えているのかわからない」を払拭していきたい。そのため、日々情報発信をしています。想い・政策を訴え、市民の皆様が判断をしていく、そんな政治を実現し、枚方の明るい未来を創っていくことが私のやりたいことです。

主に取り組んでいる政策

- 行財政改革全般
- 人事制度・給与制度
- 地域やNPO活動の活性化
- 子育て世代の支援

Contact/連絡先

〒573-8666枚方市大垣内町2-1-20 枚方市役所4階
 未来に責任・みんなの会議員控室
 ☎070-5651-5832
 E-mail : hirakata@kimura-ryota.net
 HP : http://kimura-ryota.net
 blog : http://ameblo.jp/kimura-ryota
 twitter ID : kimura_ryota

枚方市 無所属

市政報告07

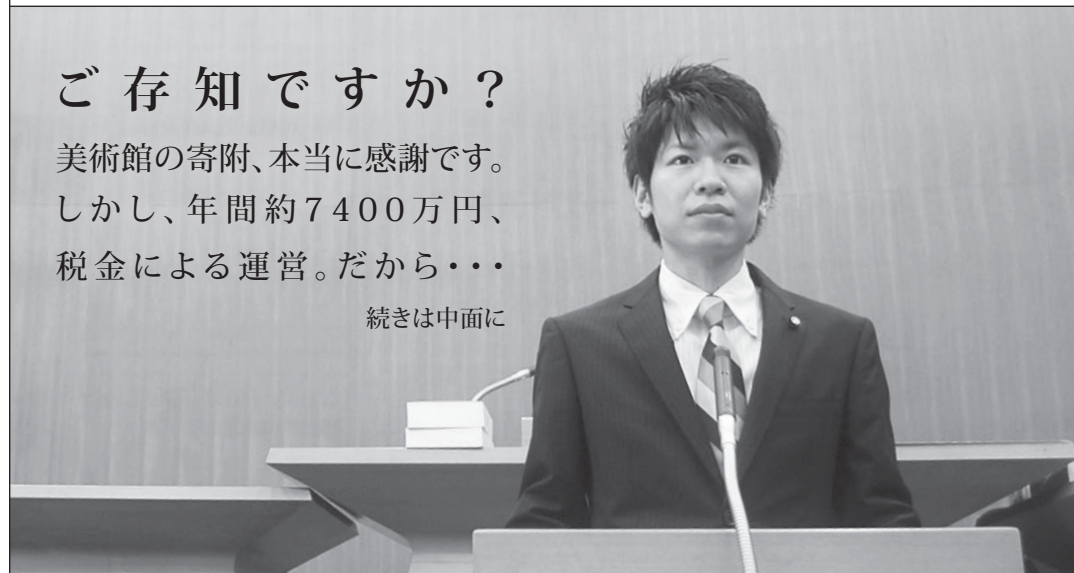
枚方市議会議員

未来に責任 木村亮太

ご存知ですか？

美術館の寄附、本当に感謝です。しかし、年間約7400万円、税金による運営。だから・・・

続きは中面に



このチラシは市政調査を目的として発行しています。皆様のご意見をお聞かせください。

予算特別委員会での質疑 税金を少しでも有効に活用を。

一部の人がしか使わない 約40年前からの事業

- 今や民間で類似サービスがある
- 登録者は対象者のうちの1割未満
- 一部の人の既得権益になっていないか

勤労市民会という市の再任用職員(OBOG)が勤めている団体に補助金を支出しています。中小企業の勤労者の福利厚生事業を実施していますが事業発足当時(1973年)と違い、現在は民間で類似事業があります。北河内7市でも実施している自治体は少ないです。さらに、対象者となる勤労者のうち、加入者は1割未満です。市の補助金支出の必要性や自主運営に向けて質疑をしました。

職員会館の利用料 しっかり徴収すべき

- 長らく無償貸与していた職員会館
- 議会での約束が果たされていない
- 「市長が特別に認める」減免は必要か

職員組合の事務所が置かれている職員会館はこれまで職員組合に無償貸与されました。昨年度初めて使用料が予算計上されましたが、結局、徴収はしませんでした。市民の方はほとんど利用しませんが、耐震補強にも約800万円の税金も使われています。平成26年度は、再び「やると言ったのにやらない」ということにならないように確認も含めて質疑をしました。

部署を超えての取り組み 年間8800万円のコスト削減

- 淀川衛生工場の今後の方針が発表
- 放流費用が見直され費用抑制
- 人件費の抑制効果も期待できる

し尿処理をする淀川衛生工場の経費を、「部署を超えて経費削減をすべき」と以前議会質問をしておりました。今回、費用抑制ができる処理方式が決まり、予算計上がされ、費用は今後、直接経費として年間8800万円の抑制が可能とのこと。処理方法が簡略化されることで人件費も抑制できます。このような部署を超えての取り組みは他部署でも進めて欲しいと伝えました。

予算の審議にあたり 大事にしていること

- 税金投入の必要性はあるのか
- 未達成なのに前例踏襲ではないか
- まだまだ意識改革が必要

予算審議にあたり、事業の詳細が記載された資料で、目標や実績の推移や、必要性・有効性・効率性を確認しています。しっかりと書かれているものもあれば、目標の設定が不適切な事業、未達成なのに「今後、現状のまま継続」の事業もあります。税金を少しでも有効活用するため、しがらみのない立場で「本当に必要か」、「一部の人のものになっていないか」、「今のやり方がいいのか」と質疑しております。

報道もされ、広報にも掲載された美術館の寄贈、本当に感謝すべきことです。しかし、議会でも様々な議論がありました。

枚方市における事業の優先順位や財源の観点から

約7400万円の費用を税金で30年間ずっと払い続けますか。

試算されている維持管理運営費は、1年だけではなく、毎年かかります。また、寄附者との覚書で、30年間の美術館運営を約束しています。現在の条件だと、30年間で約22億円です。(7400万円×30年間)財政状況が苦しくなっても途中で用途変更をする場合は、費用返還する等の条件もあります。未来世代にも大きな負担になるのではないのでしょうか。

他の事業にはお金がないのになぜ財源が捻出できるのでしょうか。

約7400万円の維持管理運営費について、市の財政の見通しに織り込んで赤字にならない、とのことですが、なぜ財源が捻出できるのか甚だ疑問です。「お金がない」などの理由で、ゲリラ豪雨対策や中学校給食については、十分な取り組みが行われていないにもかかわらずです。中学校給食は食数を対象の半分にし、当初予定よりもお金がかかる部分は外部委託する予定となっております。

他のやるべき事業より優先すべきでしょうか。

枚方市は「市民ニーズを捉え市政運営を」や「選択と集中する」という言葉をよく使いますが、その言葉に疑問符がつきます。右表は市民ニーズを調査した施策評価アンケートの結果です。「芸術・文化活動の活性化を図る」よりも重要度が高い施策はたくさんあります。市民ニーズからも、市として優先的に取り組む他の事業があるのではないのでしょうか。

※市民を対象とした48の施策の重要度アンケートの結果(平成25年度施策評価)より。

	施策	重要度
1	清らかな水を確保する	85.1
2	生命を支える医療体制を強化する	84.4
3	安全で快適なまちをつくる	81.9
4	まちの安心・安全を高める	80.5
5	ごみの発生を抑制し、資源を循環させてごみを減らす	80.4
6	乳幼児の健やかな成長を支える	80.2
7	自立を支える	79.5
:		
48	芸術・文化活動の活性化を図る	59.1

美術館には維持管理運営費が年間約7400万円、30年間で20億円以上の税金がかかるとされています。必要性や緊急性、運営方法などの点で、私は慎重な議論を求め反対しましたが、賛成多数で可決されました。

公共施設の取り巻く環境と美術館

これからの公共施設は総量圧縮も考えていくべき。

これからの時代は人口減少が叫ばれており、維持管理運営費の観点から、未来に負担を先送りしないために公共施設の総量も見直すべきだと主張をしてきました。既存の公共施設の更新費用だけで20年間で1400億円かかるという試算もあります。維持管理更新を考えると、新規の施設整備をする場合は、例えば、寄付であっても今後の費用負担も踏まえて、「本当に必要なかどうか」、また、「整備することで、どういう目的を果たしたいのか」、などのより慎重な議論が必要です。

類似都市でも少なく、専門家の議論もありません。

類似都市の中核市の約6割は美術館があるといっても、ほとんどは県庁所在地です。県庁所在地を除く首都圏や関西圏の中核市では、10市中、3市だけです。また、他市においても、おおよそ、1980～90年のバブル経済期もしくは、バブル崩壊後の景気対策として整備されたものです。今から運用していくにしても、枚方市は専門の委員会等での議論をした形跡もなく、議論に1年の期間もかけておりません。

場所の問題

整備予定地は南部の香里ヶ丘中央公園。

整備予定地は香里ヶ丘中央公園です。お近くにお住まいの方には申し訳ありませんが、枚方市の中心ではなく、バスか車がないとアクセスが困難です。整備するならせめて中心地ではないかという提案も議会からはしてありました。



今後も美術館の運営も含め、「未来に責任」のスタンスで是々非々で議論をしていきます。